

スピカが月に隠される！

2013年8月12日夕方、おとめ座の1等星スピカが月に隠される「スピカ食」が全国で見られます。恒星が月に隠される現象を「星食」と言いますが、1等星の星食は2005年3月のアンタレス食以来8年以上ぶりです。見逃さないよう！

1等星はすべて隠されるのか？

地球から見た月の通り道を白道といいます。太陽の通り道である黄道に対して少し傾いていますが、ほぼ同じところを通ります。そのため月に隠される＝星食が見られる1等星は黄道12星座の星だけです。おとめ座のスピカのほか、しし座のレグルス、さそり座のアンタレス、おうし座のアルデバランです。遠い将来、ふたご座のポルクスの星食も見られるようになるそうです。



←月の通り道・白道(白い線)と
隠される恒星たち

↓スピカ食の様子(5分ごとの動き)

18:40 19:40

スピカ食の進みかた

※時刻は平塚市内の場合です。
(国立天文台 暦計算室 提供)

| | |
|--------|--------------------|
| 18時48分 | 潜入(スピカが月に隠される) |
| 19時24分 | 出現(隠されていたスピカが出てくる) |



見どころは潜入・出現！

スピカ食の見どころは隠されるとき(潜入)と出てくるとき(出現)です。見ていて迫力があってきれいです。今回の星食は月の「夜」の部分、つまり暗くて見えていない方からスピカが隠されていきますから、スピカがスッと消えていくように見えるでしょう。ただ、潜入のころは空がまだ明るいので、肉眼ではスピカを見つけにくいかもしれません。双眼鏡などをお持ちの場合は使ってみてください。出現は、空が暗くなっているため肉眼でも楽しめるでしょう。